

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
情報処理/ベンダー対策 I (春)		情報システム学科/2年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	25回	3単位(50時間)	必須	榎本 靖之
授業の概要				
基本情報の午後試験対策を行う				
授業終了時の到達目標				
基本情報技術者試験合格				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	問1対策	セキュリティ分野		
2	問1対策、問2対策	セキュリティ分野、ソフトウェア		
3	問2対策	ソフトウェア		
4	問3対策	データベース		
5	問3対策、問4対策	データベース、ネットワーク		
6	問4対策	ネットワーク		
7	問4対策	ネットワーク		
8	問5対策	ソフトウェア設計		
9	問5対策、問6対策	ソフトウェア設計、サービスマネジメント		
10	問6対策	サービスマネジメント		
11	問7対策	システム戦略		
12	問7対策、問8対策	システム戦略、データ構造及びアルゴリズム		
13	問8対策	データ構造及びアルゴリズム		
14	問8対策	データ構造及びアルゴリズム		
15	問8対策	データ構造及びアルゴリズム		

回	テ ー マ	内 容		
16	問 8 対策、問 1 3 対策	データ構造及びアルゴリズム、表計算		
17	問 1 3 対策	表計算		
18	問 1 3 対策	表計算		
19	模擬試験 1	模擬試験 1		
20	模擬試験 1	模擬試験 1		
21	模擬試験 2	模擬試験 2		
22	模擬試験 2	模擬試験 2		
23	模擬試験 3	模擬試験 3		
24	模擬試験 3	模擬試験 3		
25	総復習	総復習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
基本情報対策テキスト 午後問題集		出席率 確認テスト 期末試験	20.0% 30.0% 50.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえてテキスト を用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
IoT開発基礎		情報システム学科/2年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	吉村 健太
授業の概要				
LAN構築の実習と連動して、IoT関連の機器の設定、アプリ開発の基本を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
LAN構築の実習と連動して、IoT関連の機器の設定、アプリ開発の基本ができるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		吉村 健太: システム管理、システム開発経験15年 これまでの勤務経験を活かし学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~ 2	Chapter1 RaspberryPiの準備	RaspberryPiの初期設定と基本設定		
3~ 6	Chapter2 RaspberryPiのインタフェースと入出力	デジタル通信方式(1)・・・PC通信方式 デジタル通信方式(2)・・・SPI通信方式 デジタル通信方式(3)・・・UART通信方式		
7~ 10	Chapter3 LED(発光ダイオード)	LEDを点灯・制御 LEDの明るさを調節する GPIOの設定 フルカラーLEDを制御		
11~ 13	Chapter4 各種スイッチ	スイッチの状態を読み取る 2端子のスイッチで入力 扉や箱が開いたことをスイッチで調べる		
14~ 16	Chapter5 A/Dコンバータ	アナログ入力を行う ボリュームからの入力		
17~ 19	Chapter6 モーター・サーボモーター	モーターを回転させる DCモーターの回転方向と回転数を制御 モーターを特定の角度まで回転		
20~ 22	Chapter7 各種センサー	明るさ、熱源検知 位置、湿度、温度、気圧を計測 加速度、距離を計測		
23~ 26	Chapter8 数字や文字などを表示するデバイスの制御	数字を表示 複数の数字を表示 ドットで絵を表示 文字を表示		
27~ 30	Chapter9 ブザー	ブザーで警告音を発する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
電子部品ごとの制御を学べる! Raspberry Pi 電子工作 実践講座		課題・レポート 出席率	80.0% 20.0%	コマシラバスについては GoogleClassroomを 参照

回	テ ー マ	内 容		

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
デザイン思考		情報システム学科/2年	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	3単位(60時間)	必須	永田 広志
授業の概要				
<p>情報を論理的に整理することを習得する。 プレゼンテーションを通してコミュニケーション能力を習得する。 世界のデザインを知る</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>基礎的な理論に基づく課題に対するデザイン能力とプレゼンテーション能力の獲得 「知らない」ことに気づく、知る</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		永田 広志: グラフィックデザイナーとして5年の実務経験 これまでの経験を活かして、グラフィックデザインの基礎を指導		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~2	授業概要	オリエンテーションおよび課題説明: 課題1「他己紹介」プレゼンテーションおよび講評		
3	付加価値	課題説明: 課題2「付加価値の考察」 チームワーク		
4	付加価値	課題2「付加価値の考察」プレゼンテーション及び講評 課題説明: 課題3「デザインとは」		
5	デザインについて	レポート作成および確認		
6	デザインについて	課題3「デザインとは」プレゼンテーション及び講評		
7	色々な色	課題説明: 課題4「100色の赤」 チームワーク		
8	色々な色	レポート作成および確認		
9	色々な色	課題4「100色の赤」プレゼンテーション及び講評		
10	書体	課題説明: 課題5「100書体」 チームワーク		
11	書体	デザイン思考1「着想①」潜在的ニーズ		
12	書体	課題4「100書体」プレゼンテーション及び講評		
13	物体	課題説明: 課題6「100のオリジナリティー」 チームワーク		
14	物体	レポート作成および確認		
15	物体	課題6「100のオリジナリティー」プレゼンテーション及び講評。前期最終講評		

回	テ ー マ	内 容
16	空間 1	課題説明：課題7「100の間取り」 チームワーク

回	テ ー マ	内 容		
17	空間 1	レポート作成および確認		
18	空間 1	課題7「100の間取り」プレゼンテーション及び講評		
19	空間 2	課題説明：課題8「100のリノベーション」 チームワーク		
20	空間 2	レポート作成および確認		
21	空間 2	課題8「100のリノベーション」プレゼンテーション及び講評		
22	アート	課題説明：課題9「100作品探索」 チームワーク		
23	アート	レポート作成および確認		
24	アート	課題9「100作品探索」プレゼンテーション及び講評		
25	アートとデザイン	課題説明：課題10「100の自由」 チームワーク		
26	アートとデザイン	レポート作成および確認		
27	アートとデザイン	課題10「100の自由」プレゼンテーション及び講評		
28~ 30	気づく	授業まとめ、全課題講評、気付き築く		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
参考図書及び資料プリント		出席率 課題・レポート 授業態度 実習・実技評価	15.0% 50.0% 15.0% 20.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえてテキスト を用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動画制作実習		情報システム学科/2年	2020/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	フランチェスカ
授業の概要				
フリーソフトを使って動画の編集とYoutubeのコンテンツ管理の仕方を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
フリーソフトを使って動画の編集とYoutubeのコンテンツ管理の仕方を理解				
実務経験有無	実務経験内容			
有	フランチェスカ:動画編集、動画制作、Youtubeのコンテンツ管理経験9年 これまでの勤務経験を活かし学生のロールモデルとなること。			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~3	Chapter1 Youtube成功の秘訣は3つの「ツ」	動画を作る前に必要な心構えやゴールの設定方法、さらには、何がYoutube運営に必要なのかなど、知っておかないと損をする情報やYoutubeを最大限に活用するためのしなかけを「ツクル・ツタワル・ツナガル」の3つのアプローチからわかりやすく整理する。		
4~7	Chapter2 伝わる動画の作り方	「ツクル」に関する事柄を説明し、疑問を解決。撮影テクニックや編集に加えて、簡単にプロに近づくためのコンテンツ作りを説明		
8~11	Chapter3 Youtubeに動画をアップする	Youtubeでの目的の伝え方、視聴されるための各種設定方法を理解し、Youtube上の溢れる大量の動画の中から自分が求める視聴者に動画を見てもらう方法を学ぶ		
12~15	Chapter4 Youtubeを徹底活用する	Youtubeアナリティクスを使って、定量分析やSNSによる効果的な拡散方法、GoogleAdWordsによる動画広告活用法からYoutuberとして動画をお金にするためのGoogleAdSense利用法まで、Youtubeを徹底活用するために必要な「ツナガル」を最大限に発揮するための方法を学ぶ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
改訂 0	Youtube 成功の実践法則60	出席率 課題・レポート	20.0% 80.0%	【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
データベース演習		情報システム学科/2年	2020/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	60回	4単位(120時間)	必須	吉村 健太
授業の概要				
ExcelデータをAccessにインポートし、データベース管理を学ぶ Excelを使用してデータ分析をする技術を身につける				
授業終了時の到達目標				
Accessを用いてデータベースを学ぶ Excelを活用して、簡易的なデータ分析能力を身につける				
実務経験有無		実務経験内容		
有		吉村 健太: システム管理、システム開発経験15年 これまでの勤務経験を活かし学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~2	1. Excel & Access連携の基礎知識	AccessとExcelの連携と、メリット		
3~6	2. 標準機能を使ってExcelのデータをAccessに書き込む	Excelシートの整形		
7~10	3. VBAを使ってExcelのデータをAccessに書き込む	ExcelVBA、SQL、ADOについて理解する		
11~14	4. 標準機能を使ってAccessのデータをExcelに読み込む	Accessデータのエクスポートを理解する		
15~18	5. VBAで専用フォームを作成してAccessのデータをExcelに読み込む	フォームを利用する		
19~22	6. 専用フォームを使ってExcelからデータを追加・更新・削除する	AccessVBAを理解する		
23~26	7. 列数の多いExcelシートを分割しAccessの複数テーブルで利用する	複数のテーブルを利用する リレーションシップ		
27~30	8. Excel&Access連携アプリケーション	マスタテーブル等の活用		
31~32	経験則は正しいか	相関関係と因果関係		
33~34	予測してシミュレーションしてみる	回帰分析		
35~36	予測してシミュレーションしてみる	重回帰分析		
37~38	数字じゃないデータを数字に変換する	ダミー変数を使う		
39~40	どんな組み合わせが効果的?	影響度を調べる		
41~42	小テスト	相関関係・回帰分析		

回	テ ー マ	内 容
43～ 44	儲けは出るのか	損益分岐点を計算

回	テ ー マ	内 容		
45～ 46	儲けは出るのか	シナリオを考えて利益計算をする		
47～ 48	データの分布	ヒストグラム		
49～ 50	データの分布	標準偏差		
51～ 52	検定			
53～ 54	検定 地図上にデータを配置	Excelで地図にグラフを表示する		
55～ 56	地図上にデータを配置	Excelで地図にグラフを表示する		
57～ 58	小テスト	損益分岐点・ヒストグラム		
59～ 60	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Excel&Access連携 実践ガイド～仕事の現場で即使える 秀和システム 図解でわかる 最新 エクセルのデータ分析がみるみるわかる本		出席率 授業態度 確認テスト 実習・実技評価 期末試験	20.0% 20.0% 10.0% 20.0% 30.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえてテキスト を用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ネットワーク実習 (CISCO) II		情報システム学科/2年	2020/通年	実習
授業時間	回数	単位数 (時間数)	必須・選択	担当教員
90分	90回	6単位 (180時間)	必須	平坂 篤

授業の概要

1. シスコネットワークングアカデミーのCCNA R&S:Routing and Switching Essentialsのカリキュラムを履修する
2. シスコネットワークングアカデミーのCCNA R&S:Scaling Networksのカリキュラムを履修する
3. シスコネットワークングアカデミーのCCNA R&S:Connecting Networksのカリキュラムを履修する
4. ルーティングの動作、ネットワーク機器の設定、様々なネットワークへの接続方法を、シミュレーションソフトウェアであるPacketTracerを使用して検証し、学習内容を理解していく
5. 上記1のカリキュラムを11項目、2と3のカリキュラムを9項目に分け、項目ごとに講義を行い、理解したことを基に実習をすることで理解を深めていく
6. ネットワーク/セキュリティ概論と並行実施する授業であり、2つの科目で上記内容を進行していく
ネットワーク/セキュリティ概論は2年生前期で終了するが、シスコネットワークングアカデミーの残りの部分は当科目にて後期に引き続き実施するものとする

授業終了時の到達目標

1. ルーティングプロトコルを使用してネットワークの構築・設定が行えるようになる
2. ネットワーク要件に適したルータやスイッチングハブの設定・検証を行うことができるようになる
3. アクセスリストやNATなど、ネットワークセキュリティに関する設定ができるようになる
4. EIGRPを使用してネットワークの構築・設定が行えるようになる
5. ポイントツーポイントやフレームリレーなど、WANの形態に適合したネットワークの設定や検証を行うことができるようになる
6. セキュリティを考慮したネットワークの設定・監視ができるようになる
7. 上記の確認として、シスコネットワークングアカデミーのカリキュラムにおける試験において、平均点として60点以上の目標点数を取得できるようになる
前期: Routing and Switching EssentialsのFinal Exam
Routing and Switching Essentialsの実技試験
Scaling Networksのチャプター1~6の小テスト
後期: Scaling NetworksのFinal Exam
Scaling Networksの実技試験
Connecting NetworksのFinal Exam
Connecting Networksの実技試験

実務経験有無	実務経験内容
有	平坂 篤: カスタマエンジニアとして5年の勤務経験 これまでの勤務経験を活かし学生のロールモデルとなること。

時間外に必要な学修

【準備学習】
次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

回	テーマ	内容
1	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials 3章 実習(2)	3章 実習(2)
2	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials 4~5章 講義(1)	4~5章 講義(1)
3	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials 4~5章 実習	4~5章 実習(1)
4	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials 4~5章 実習	4~5章 実習(2)

回	テ ー マ	内 容
5	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials 4~5章 講義(3)	4~5章 実習(3)
6	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials 6章 講義(1)	6章 講義(1)
7	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials 6章 講義(2)	6章 講義(2)
8	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials 6章 実習(1)	6章 実習(1)
9	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials 6章 実習(4)	6章 実習(4)
10	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials 6章 実習(5)	6章 実習(5)
11	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials 6章 実習(6)	6章 実習(6)
12	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials 7~8章 講義(1)	7~8章 講義(1)
13	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials 7~8章 講義(1)	7~8章 実習(1)
14	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials 7~8章 実習(2)	7~8章 実習(2)
15	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials 7~8章 実習(3)	7~8章 実習(3)

回	テ ー マ	内 容
16	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials 7~8章 実習(4)	7~8章 実習(4)
17	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials 9章 実習(1)	9章 実習(1)
18	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials 9章 実習(2)	9章 実習(2)
19	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials 9章 実習(5)	9章 実習(5)
20	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials 9章 実習(6)	9章 実習(6)
21	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials 10章 実習(2)	10章 実習(2)
22	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials 11章 講義(1)	11章 講義(1)
23	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials FinalExam	第1章~第11章すべての確認試験
24	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials 11章 実習(2)	11章 実習(2)
25	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials SBA	第1章~第11章すべての実技試験
26	CCNA R&S:Routing and Switching Essentials SBA	第1章~第11章すべての実技試験
27	CCNA R&S:Scaling Networks 1~2章 講義(3)	1~2章 講義(3)
28	CCNA R&S:Scaling Networks 2章 実習(1)	2章 実習(1)
29	CCNA R&S:Scaling Networks 2章 実習(4)	2章 実習(4)
30	CCNA R&S:Scaling Networks 3章 講義(1)	3章 講義(1)
31	CCNA R&S:Scaling Networks 4~6章 講義(1)	4~6章 講義(1)
32	CCNA R&S:Scaling Networks 4~6章 講義(2)	4~6章 講義(2)
33	CCNA R&S:Scaling Networks 4~6章 講義(3)	4~6章 講義(3)
34	CCNA R&S:Scaling Networks 5~6章 実習(1)	5~6章 実習(1)
35	CCNA R&S:Scaling Networks 5~6章 実習(2)	5~6章 実習(2)

回	テ ー マ	内 容
36	CCNA R&S:Scaling Networks 5～6章 実習(3)	5～6章 実習(3)
37	CCNA R&S:Scaling Networks 5～6章 実習(4)	5～6章 実習(4)
38	CCNA R&S:Scaling Networks 5～6章 実習(5)	5～6章 実習(5)
39	CCNA R&S:Scaling Networks 5～6章 実習(6)	5～6章 実習(6)
40	CCNA R&S:Scaling Networks 5～6章 実習(7)	5～6章 実習(7)
41	CCNA R&S:Scaling Networks 7章 講義(1)	7章 講義(1)
42	CCNA R&S:Scaling Networks 7章 講義(2)	7章 講義(2)
43	CCNA R&S:Scaling Networks 7章 実習(1)	7章 実習(1)
44	CCNA R&S:Scaling Networks 7章 実習(2)	7章 実習(2)
45	CCNA R&S:Scaling Networks 7章 実習(3)	7章 実習(3)
46	CCNA R&S:Scaling Networks 8章 講義(1)	8章 講義(1)
47	CCNA R&S:Scaling Networks 8章 講義(2)	8章 講義(2)
48	CCNA R&S:Scaling Networks 8章 実習(1)	8章 実習(1)
49	CCNA R&S:Scaling Networks 8章 実習(2)	8章 実習(2)
50	CCNA R&S:Scaling Networks 8章 実習(3)	8章 実習(3)
51	CCNA R&S:Scaling Networks 8章 実習(4)	8章 実習(4)
52	CCNA R&S:Scaling Networks 9章 講義(1)	9章 講義(1)
53	CCNA R&S:Scaling Networks 9章 講義(2)	9章 講義(2)
54	CCNA R&S:Scaling Networks 総復習	現在までの部分の総復習
55	CCNA R&S:Scaling Networks 総復習	現在までの部分の総復習

回	テ ー マ	内 容
56	CCNA R&S:Scaling Networks 総復習	現在までの部分の総復習
57	CCNA R&S:Scaling Networks FinalExam	第1章～第9章すべての確認試験
58	CCNA R&S:Scaling Networks FinalExam	第1章～第9章すべての確認試験
59	CCNA R&S:Connecting Networks 1～4章 講義(1)	1～4章 講義(1)
60	CCNA R&S:Connecting Networks 1～4章 講義(2)	1～4章 講義(2)
61	CCNA R&S:Connecting Networks 1～4章 講義(3)	1～4章 講義(3)
62	CCNA R&S:Connecting Networks 1～4章 講義(4)	1～4章 講義(4)
63	CCNA R&S:Connecting Networks 1～4章 講義(5)	1～4章 講義(5)
64	CCNA R&S:Connecting Networks 1～4章 講義(6)	1～4章 講義(6)
65	CCNA R&S:Connecting Networks 3～4章 実習(1)	3～4章 実習(1)
66	CCNA R&S:Connecting Networks 3～4章 実習(2)	3～4章 実習(2)
67	CCNA R&S:Connecting Networks 3～4章 実習(3)	3～4章 実習(3)
68	CCNA R&S:Connecting Networks 3～4章 実習(4)	3～4章 実習(4)
69	CCNA R&S:Connecting Networks 5章 講義(1)	5章 講義(1)
70	CCNA R&S:Connecting Networks 5章 講義(2)	5章 講義(2)
71	CCNA R&S:Connecting Networks 5章 講義(3)	5章 講義(3)
72	CCNA R&S:Connecting Networks 5章 実習(1)	5章 実習(1)
73	CCNA R&S:Connecting Networks 5章 実習(2)	5章 実習(2)
74	CCNA R&S:Connecting Networks 5章 実習(3)	5章 実習(3)
75	CCNA R&S:Connecting Networks 総復習	現在までの部分の総復習

回	テ ー マ	内 容		
76	CCNA R&S:Connecting Networks 総復習	現在までの部分の総復習		
77	CCNA R&S:Connecting Networks 6章～8章 講義(1)	6章～8章 講義(1)		
78	CCNA R&S:Connecting Networks 6章～8章 講義(2)	6章～8章 講義(2)		
79	CCNA R&S:Connecting Networks 6章～8章 講義(3)	6章～8章 講義(3)		
80	CCNA R&S:Connecting Networks 6章～8章 講義(4)	6章～8章 講義(4)		
81	CCNA R&S:Connecting Networks 6章～8章 実習(1)	6章～8章 実習(1)		
82	CCNA R&S:Connecting Networks 6章～8章 実習(2)	6章～8章 実習(2)		
83	CCNA R&S:Connecting Networks 6章～8章 実習(3)	6章～8章 実習(3)		
84	CCNA R&S:Connecting Networks 6章～8章 実習(4)	6章～8章 実習(4)		
85	CCNA R&S:Connecting Networks 9章 講義(1)	9章 講義(1)		
86	CCNA R&S:Connecting Networks 9章 講義(2)	9章 講義(2)		
87	CCNA R&S:Connecting Networks 総復習	現在までの部分の総復習		
88	CCNA R&S:Connecting Networks 総復習	現在までの部分の総復習		
89	CCNA R&S: Connecting Networks FinalExam	第1章～第9章すべての確認試験		
90	CCNA R&S: Connecting Networks FinalExam	第1章～第9章すべての確認試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Ciscoネットワークアカデミー Web教材		出席率 授業態度 期末試験	10.0% 10.0% 80.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
情報処理/ベンダー対策 I (秋)		情報システム学科/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	榎本 靖之
授業の概要				
秋期情報処理試験に向けた対策を実施(基本はアルゴリズムの擬似言語) 基本情報よりも深い応用情報処理試験の内容を学習				
授業終了時の到達目標				
基本情報処理の合格 応用情報処理試験の合格				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	・基本情報のアルゴリズムについて理解する(配列の復習)、フローチャートを書く ・探索法の復習	・配列の復習 StepUP問題集 1-1-1、1-1-2 ・線形探索、二分探索 StepUP問題集 2-1-1		
2	・整列(ソート)の復習 ・第6章 データベース	・基本選択法、基本交換法、基本挿入法、クイックソート StepUP問題集 2-2-1、2-2-3 ・6. 3 正規化		
3	・第6章 データベース	・6. 3 正規化		
4	・第6章 データベース	・6. 4 関係データベースの演算		
5	・第6章 データベース	・6. 5 SQL		
6	・第6章 データベース	・6. 5 SQL		
7	・第6章 データベース	・6. 5 SQL ・6. 6 データ定義言語		
8	・第6章 データベース	・6. 6 データ定義言語		
9	・第6章 データベース	・6. 6 データ定義言語 ・6. 7 埋め込み方式		
10	・第6章 データベース	・6. 8 データベース管理システム		
11	・第6章 データベース	・6. 8 データベース管理システム		
12	・第6章 データベース	・6. 9 分散データベース ・6. 10 データベース応用		
13	・第6章 データベース	・得点アップ問題		
14	・第7章 ネットワーク	・7. 1 通信プロトコルの標準化 ・7. 2 IPアドレス		
15	・第7章 ネットワーク	・7. 3 ネットワーク(LAN) ・7. 4 インターネット利用技術		

回	テーマ	内 容		
16	・第7章 ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7. 5 伝送技術 ・ 7. 6 交換方式 ・ 7. 7 デジタル通信 		
17	・第7章 ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7. 8 回線容量の計算 		
18	・第7章 ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7. 9 伝送時間の計算 		
19	・第8章 セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8. 1 暗号化 ・ 8. 2 暗号の応用 		
20	・第8章 セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8. 3 認証 ・ 8. 4 デジタル署名とPKI 		
21	・第8章 セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8. 5 コンピュータウイルス ・ 8. 6 脅威とリスク 		
22	・第8章 セキュリティ ・第9章 システム開発技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 得点アップ問題 ・ 9. 1 開発プロセス・手法 		
23	・第9章 システム開発技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9. 2 分析・設計手法 ・ 9. 3 オブジェクト指向設計 		
24	・第9章 システム開発技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9. 4 モジュール設計 ・ 9. 5 テスト 		
25	・第9章 システム開発技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9. 6 テスト管理手法 ・ 9. 7 レビュー 		
26	・第9章 システム開発技術 ・応用午前問題対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 得点アップ問題 ・ 午前模擬問題 		
27	・応用午前問題対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 午前模擬問題 		
28	・応用午後問題対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 午後模擬問題 		
29	・応用午後問題対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 午後模擬問題 		
30	・応用午後問題対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 午後模擬問題 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
基本情報SETPUP演習アルゴリズム対策 応用情報技術者合格教本		出席率 国家試験の点数	20.0% 80.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえてテキスト を用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
モバイルアプリケーション 演習 I		情報システム学科/2年	2020/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	矢田 和也
授業の概要				
Monacaを使ってスマホアプリケーションの開発する。				
授業終了時の到達目標				
Monacaを使ってスマホアプリケーションの開発する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		矢田 和也: ITエンジニアとしてシステム開発経験3年 これまでの開発経験を活かし学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~ 2	HTML5ハイブリッドアプリ開発と Monaca	Monacaについての理解		
3~ 4	Monacaの使い方	Monacaについての簡単な操作方法		
5~ 6	はじめてのMonacaアプリ	Monacaアプリの作成		
7~ 8	CSSアニメーションと描画機能	CSSアニメーションの動作の理解		
9~ 10	Onsen UIの基本	Onsen UIの理解		
11~ 12	イベントとインタラクション	イベントとインタラクションの使い方		
13~ 14	画面のパターンと構成	画面の構成方法		
15~ 16	Cordovaとデバイス機能	Cordovaについての理解		
17~ 18	AngularJS入門	AngularJSについての理解		
19~ 20	本格的なアプリ開発	本格的なアプリ開発の手法		
21~ 30	アプリ開発	実際にアプリを作成		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
クラウドでできるHTML5ハイブリッド アプリ開発		課題・レポート 出席率	80.0% 20.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえてテキスト を用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
クラウドセキュリティ概論		情報システム学科/2年	2020/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉村 健太
授業の概要				
クラウドサービス導入に際して必要になる知識、スキルを習得する				
授業終了時の到達目標				
Cloud Essentials合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		吉村 健太: システム管理、システム開発経験15年 これまでの勤務経験を活かし学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~3	クラウドの特徴	クラウドの特性、サービスモデル		
4~6	クラウドの仕組み	分散処理、仮想化、データ連携、クラウド技術の標準化		
7~9	クラウドの導入と利用	クラウドとアウトソーシング、クラウドビジネスの特徴、マネジメント		
10~12	クラウドのリスクと影響	コンプライアンス、セキュリティ、ベンダーとの契約書		
13~15	クラウドサービスの種類	商業サービス、ホスティングサービス、クラウドストレージ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
実務で役立つIT資格CompTIAシリーズ Cloud Essentials テキスト & 問題集 CLO-001対応版		出席率 授業態度 確認テスト 期末試験	30.0% 20.0% 20.0% 30.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえてテキスト を用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
商業簿記基礎		情報システム学科/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	小西 美月
授業の概要				
会計処理の概要と記帳処理 日商簿記検定3級対策				
授業終了時の到達目標				
日々の記帳から財務諸表作成までの一連の流れを理解することができる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		小西 美月: 会計事務所に15年の勤務経験 これまでの勤務経験を活かし学生のロールモデルとなること。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	簿記の基礎	簿記と財務諸表の関係について		
2	日常の手続き	記帳のルールを覚えよう		
3~ 4	商品売買	分記法と三分法、掛け取引・返品・諸掛りの処理 売掛金・買掛金元帳・商品有高帳の記入		
5	現金と預金	簿記上の現金、当座預金(借越)の処理		
6	小口現金、クレジット売掛金 手形取引	小口現金出納帳の記入、クレジット売掛金の処理 手形の振出と受取		
7	帳簿の関係	主要簿と補助簿の作成		
8~ 9	電子記録債権・債務 その他の取引	電子記録債権・債務の処理 貸付・借入、有形固定資産、未収と未払 仮払と仮受、給与		
10~ 12	試算表	試算表の作成		
13~ 16	決算	決算の意味と未処理事項 現金過不足、貯蔵品、当座借越の処理 売上原価の計算、貸倒れ、減価償却 経過勘定項目		
17~ 18	精算表	精算表の作成		
19~ 20	帳簿の締め切りと財務諸表	帳簿の締め切り 貸借対照表と損益計算書の作成		
21	株式の発行、剰余金	株式の発行、剰余金の配当と処分		
22~ 23	税金、証憑と伝票	税金の種類、伝票の作成と集計		

回	テ ー マ	内 容		
24～ 29	模擬問題、過去問答練	模擬問題、過去問答練		
30	後期末試験	後期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
日商簿記3級合格テキスト（TAC出版） 日商簿記3級合格トレーニング（TAC出版） 自作プリント		出席率 授業態度 課題・レポート 期末試験	20.0% 20.0% 20.0% 40.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえてテキスト を用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座 I		情報システム学科/2年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	榎本 靖之 他
授業の概要				
就職活動も含めながら社会人になるための基礎力を身につける				
授業終了時の到達目標				
1)3KAN教育(1.自己効力感 2.成長実感 3.学び続ける習慣)により企業が求める人材を育成する 2)基礎学力、専門知識を将来社会において発揮することができるための汎用的能力の育成 3)目標を設定し管理することによって、自己成長を実感させ、将来設計ができるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	就職活動の動きを知る。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就職活動の動き 2. 求人票の見方 3. 企業訪問 4. 就職試験 5. 企業が欲しい人材 6. 自己分析 		
2	適性検査 スケジュール管理 各クラス動機付け	<ul style="list-style-type: none"> ・5分前行動(9:25着席) ・身だしなみ確認 ・適性検査実施 ・就職の手引き説明 ・就職活動に向けた目標設定、またその目標を達成するための計画を立てられるよう計画の立て方を学ぶ。 		
3	スラスラ書ける文章術	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動に備えたアウトプット中心の訓練 書く、話す、考える 文章の「型」を体得する ・論理的思考 ・考えを掘り下げる (「結論」→「根拠・事実」) ・文章の型の例「なたもだ」 		
4	<ul style="list-style-type: none"> ・自己分析 <ul style="list-style-type: none"> ●私の長所 ●希望職業と適性 ●自己分析 ・マインドマップ 	I 成功の鍵を握る自己分析について ①自己分析の目的 ②自己分析をすることで、どのように役立つか ③自己分析は、具体的にどんな方法で行えばよいか ④自己分析をやってみる II 長所チェックリスト III 希望職業と適性の記入 IV 自己分析(長所)		
5	自己分析の2回目であり、これまでの学生生活の振り返りと現状分析、未来への希望を考える。	自己分析シート2(過去)、自己分析シート(現在)、自己分析シート(未来)を使用して、自己の振り返りと希望の整理を行う。		

回	テーマ	内 容		
6	自己PR文の作成	1. 自己PR文の書き方を理解する。 2. 自己PR文のアウトライン(結論、理由、具体例)を考える。 3. アウトラインから文章を組み立てる。		
7	業種・職種の理解	業種、職種の意味 目指す業種、職種について、インターネットや就職相談室の資料を活用し、理解を深める。		
8	ロジカル・シンキング	・論理的思考によって物事の捉え方が変化する。 そのことを理解して日常に活かすことで、思考力を鍛えることができることを学習する。		
9	読書が楽しくなる読書術(1)	1. 読書の楽しみ方・本の選び方 1) 読書の楽しみ 2) 本の選び方 3) 書店・図書館利用法 2. 読書の活かし方 読んだだけで終わらない読書法		
10	・50問50答作成 ・履歴書作成	・5分前行動(9:25着席) ・身だしなみ確認 ・50問50答作成のポイントについての説明 ・履歴書の記入のポイントについての説明		
11	丁寧で見やすい履歴書が作成できるようになる	・文字の大きさは行高の70%程度 ・数字は漢字を使用せず、アラビア数字で記入 ・現住所は「徳島県」から記入 ・検定は「合格」、免許は「取得」で統一		
12	ホスピタリティマインド 社会人としての心得	1. ホスピタリティとは 身近なシーンでのホスピタリティ 2. 基本的なビジネスマナー 電話対応 会社訪問 メールでのマナー 3. 基本的な立ち居振る舞い		
13	50問50答、自己PRの確認 面接時の所作を学ぶ	50問50答の見直し 自己PRの発表 入退室の所作 説明と練習		
14	50問50答の仕上げ 自己PRの仕上げ	50問50答の各質問に対しての最善の回答を考える。 自己PRを見直し、実際の就職試験でアピールできる内容か再考案する。		
15	これから始まる就職活動に向けての 心構え・準備(志望動機の書き方)	・志望動機の書き方ワークシート ・生活を変える4つの方法 ・明日からのやるべきことがハッキリする 就活成功術		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
就職の手引き 手帳		出席率	100.0%	2コマ：A評価 4コマ欠課：B評価 5～8コマ欠課：C 評価 9コマ以上：D評価 ただし、フォロー

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
インターネット実習応用		情報システム学科/2年	2020/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	大草 和也
授業の概要				
JavaScriptを使って、リアルタイムに更新できる動的なホームページ作成テクニックについて学ぶ				
授業終了時の到達目標				
ユーザーの操作に反応するUIとAjaxを使ったクライアントサーバ間でのデータの送受信する方法を理解し、ページに掲載されているコンテンツを即座に更新ができるようになる。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	大草 和也: Webサービスのフロントエンジニアとして3年の勤務経験 これまでの勤務経験を活かし学生のロールモデルとなること。			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~ 2	イントロダクション	Javascriptについての説明		
3~ 4	アウトプットの基本	2-1 コンソールにアウトプット 2-2 JavaScriptはどこに書く? 2-3 ダイアログボックスを表示する 2-4 HTMLを書き換える		
5~ 6	JavaScriptの文法と基本的な機能	3-1 確認ダイアログボックスを表示する 3-2 入力に応じて動作を変更する 3-3 動作のバリエーションを増やす 3-4 数当てゲーム 3-5 時間で異なるメッセージを表示する 3-6 1枚、2枚、3枚・・・と出力する 3-7 コンソールでモンスターを倒せ! 3-8 税込み価格を計算する 3-9 FizzBuzz 3-10 項目リストを表示する 3-11 アイテムの価格と在庫を表示する		
7~ 8	インプットとデータの加工	4-1 フォームの入力内容を取得する 4-2 わかりやすく日時を表示する 4-3 「0」をつけて桁数を合わせる 4-4 小数点第0位で切り捨てる		
9~ 10	一歩進んだテクニック	5-1 カウントダウンタイマー 5-2 プルダウンメニューで指定ページへ 5-3 アンケートへの回答は一度だけ 5-4 イメージの切り替え 5-5 スライドショー		
11~ 12	jQuery入門	6-1 開閉するナビゲーションメニュー 6-2 ボックスを開く・たたむ 6-3 空き席状況をチェック		
13~ 14	外部データを活用したアプリケーションに挑戦!	7-1 最新記事一覧を表示する 7-2 WebAPIを使ってみよう		
15	まとめ	全学習のまとめ		

回	テーマ 教科書・教材	内容		
		評価基準	評価率	その他
	確かな力が身につくJavascript「超」入門	出席率 課題・レポート 実習・実技評価	20.0% 30.0% 50.0%	【準備学習】 次回の授業内容を 踏まえてテキスト を用いて予習する コマシラバスにつ いては、

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
LAN構築演習		情報システム学科/2年	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	6単位(90時間)	必須	榎本 靖之
授業の概要				
1. Linuxを使用してサーバを管理する技術を身につける 2. Linuxの概要を習得し、簡単なLAN構築ができるようになる				
授業終了時の到達目標				
1. Linuxを使用して簡単なコマンドを使用できるようになる				
実務経験有無	実務経験内容			
無				
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~2	ハードウェアと基本知識	ハードウェアの知識、デバイス情報の確認		
3~5	システムのシャットダウンとランレベル	システムのシャットダウン方法、ランレベルの変更		
6~9	Linuxのインストール	ハードディスクのレイアウト設計、ブートルoader		
10~13	パッケージ管理	Debianのパッケージ管理、RPMのパッケージ管理		
14~17	コマンドラインの操作	シェル、コマンド、パイプとリダイレクト、「フィルタ」のコマンド		
18~21	正規表現を使ったテキスト検索とviエディタ	正規表現、grepコマンド、sedコマンド、viエディタ		
22~26	ファイルの管理	基本的なファイル管理、パーミッションの設定、ファイルの所有者、ハードリンクとシンボリックリンク		
27~31	プロセスの管理	プロセス管理、プロセスの実行優先度		
32~36	Linuxファイルシステム	ファイルシステムの管理、マウントとアンマウント、ディスククォータの管理、FHS、ファイルの検索		
37~45	演習問題	問題を解く		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
さくらインターネットVPSサーバ バーチャルBox Windows10ProおよびWindowsServer ISOファイル		出席率 課題・レポート	20.0% 80.0%	【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する